

石油資源開発株式会社

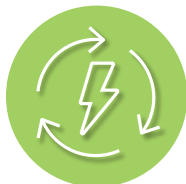
証券コード: 1662

JAPEX

BUSINESS REPORT

SPRING
SUMMER **2023**

石油資源開発ビジネスレポート
2022年4月1日～2023年3月31日



株主の皆さまへ



株主の皆さまにはますますご清祥のことと、
お慶び申し上げます。

2023年3月期における当社の業績等に
つきまして、ここにご報告申し上げます。

代表取締役社長 社長執行役員

髙田 昌宏

／ 2023年3月期の経営成績と事業概況のご報告

当年度（2022年度）における売上高は、前年度にカナダのオイルサンドおよびシェールガス案件に係る株式や権益を譲渡したことにより、海外における希釈ピチューメンや天然ガスの販売量が剥落したものの、原油やLNGの価格の上昇にとともに国内の原油および天然ガスの販売価格が上昇したことなどから、前年度に比べ873億円増収の3,364億円となり、営業利益は、前年度に比べ422億円増益の620億円となりました。

経常利益は、LNG取引に係るデリバティブ利益を計上したことなどにより、前年度に比べ394億円増益の831億円となり、親会社株主に帰属する当期純損益は、前年度に比べ983億円増益となり、673億円の当期純利益に転じました。

事業の主な進捗については、E&P分野において、アメリカ・タイトオイル開発への投資拡大を決定したほか、英領北海・シーガルプロジェクトでは今年年央の生産開始に向けた開発作業が進んでいます。また国内では、新潟県・片貝ガス田周辺追加開発を開始しました。

I/U（インフラ・ユーティリティ）分野においては、北海道・網走バイオマス発電所2号機および3号機が営業運転を開始したほか、国内3か所におけるバイオマス発電所の建設も順調に進捗しています。

CN（カーボンニュートラル）分野では、CO₂地下貯留の早期事業化を目指し、北海道・苫小牧エリアや新潟エリア、また、海外で複数の実現可能性調査へ参加しています。

当年度下期(2022年10月～2023年3月)の主なトピックス

● I/UおよびCN分野 ● 会社情報



北海道・網走バイオマス発電所2号機・3号機が営業運転を開始、愛知県・田原バイオマス発電所が着工



商船三井フェリー(株)が運航する**大洗～苫小牧航路**における新造LNGフェリー2隻への**LNG燃料供給に関する基本協定書**を締結



出光興産(株)、北海道電力(株)、当社の3社で、**北海道・苫小牧エリアにおけるCCUS**(Carbon dioxide Capture, Utilization, and Storage:CO₂の回収・有効活用・貯留)実施に向けた**共同検討を開始**



ダイバーシティ促進や職場環境改善の一環として**就業時服装カジュアル化のトライアルを開始**、JAPEXグループ**「人権方針」を策定**

／ 期末配当のお知らせと今期の見通しにつきまして

当社は株主の皆さまへの利益還元を経営上の重要課題と認識しており、内部留保を活用した積極的な投資と事業基盤の拡充を通じて企業価値の持続的向上を図るとともに、その成果を株主の皆さまに還元します。連結配当性向30%を目安に、各期の業績に応じた配当を行うことを基本方針とし、加えて、事業環境の変化などにより一時的に業績が悪化した場合でも、1株当たり年間50円配当の維持に努めます。

本方針にもとづき、当年度の期末配当金は、1株当たり220円、年間配当金は1株当たり370円とさせていただきます。また今年度(2023年度)の配当予想は、5月12日に公表した業績予想に鑑み、年間配当金を1株当たり200円(うち中間配当金100円)とさせていただきます。

今年度の通期業績見通しにつきましては、当年度と比較し、原油、天然ガスの販売価格の下落を見込んだことなどにより、営業利益は208億円減益の412億円、経常利益は376億円減益の455億円、親会社株主に帰属する当期純利益は、333億円減益の340億円となる見通しです。

当社は、昨年3月に策定した「JAPEX経営計画2022-2030」を踏まえ、2050年カーボンニュートラル社会実現に向け当社として貢献するため、事業基盤の構築とさらなる成長を目指してまいります。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

トピックス (2022年12月～2023年5月)

●E&P分野 ●I/UおよびCN分野 ●会社情報 ※公表日を基準に記載

12月

- 気候変動・環境問題に特化した独立系ベンチャーキャピタルファンド「ANRI-GREEN1号投資事業有限責任組合」へ出資

1月

- 茨城県・大洗港における商船三井フェリー(株)向けLNG燃料供給に関する基本協定書を締結
- 出光興産(株)、北海道電力(株)、当社の3社で、北海道・苫小牧エリアにおけるCCUS実施に向けた共同検討を開始

2月

- 従業員の健康増進のためのスポーツ活動の支援・促進を積極的に行う「スポーツエールカンパニー2023」に認定
- ダイバーシティ促進や職場環境改善の一環として、就業時服装カジュアル化のトライアルを開始

3月

- 北海道・網走バイオマス発電所3号機が営業運転を開始 ▶P4.Pick Up
- JAPEXグループとしての人権尊重の意思と事業活動に係る人権課題を明示した「人権方針」を制定

4月

- 従業員の同性パートナーを法律婚の配偶者と同様に扱う「同性パートナーシップ制度」を導入

5月

- ノルウェー領海上鉦区で探鉦・開発事業を推進する英ロンブポート・エナジー社子会社への資本参加を決定

Pick Up

北海道・網走バイオマス発電所2号機/3号機プロジェクト ～当社出資バイオマス発電所として初の営業運転開始～

当社は、2050年カーボンニュートラル社会実現に向けて貢献できる事業分野の一つとして、再生可能エネルギー開発に取り組んでいます。2019年5月に専任組織を設置し、これまでに山口県・長府、北海道・網走、愛媛県・大洲、愛知県・田原の、計4つのバイオマス発電所の開発プロジェクトに参画しました。今回はそのうち、当社参画案件として初の営業運転開始にいたった、網走バイオマス発電所2号機/3号機プロジェクトをご紹介します。

国内材100%を燃料とするバイオマス発電プロジェクト

本プロジェクトは、出力9,900kWのバイオマス発電所2機の開発と運営を推進しており、オリジネーターである(株)WIND-SMILEや当社を含む民間企業計6社が、事業主体である特別目的会社（SPC）に出資し参画しています。発電燃料には北海道産木質チップを100%使用するとともに、FIT制度を利用し年間約1.6億kWhを北海道電力ネットワーク（株）へ売電する、エネルギーの地産地消に貢献するものです。昨年10月に2号機、今年3月には3号機が営業運転を開始しました。



網走バイオマス発電所2号機

各社の強みを結集した発電所開発・運営

本プロジェクトでは、発電所の開発、燃料調達や運用・保守点検（O&M）など、各社の強みに合致した業務を、参画各社がSPCから受託し推進しています。

当社は、天然ガス発電所の立ち上げ・運営経験などを活かせるアセットマネジメント業務を当社子会社である(株)ジャペックスグリーンエナジー（JGE）が受託し、プロジェクトの資金や資産の管理をはじめとするSPCの運営を担っています。

なお当社は、網走に加え、長府ならびに田原の各バイオマス発電プロジェクトにおいて、JGEがアセットマネジメント業務を受託しています。

当社は引き続き、開発・運用中の再生可能エネルギープロジェクトを安全最優先で推進することに加え、昨年3月に策定した「JAPEX経営計画2022-2030」で重点項目の一つである、さらなる再生可能エネルギー案件への参画などを具体化させていくことにより、国内外の再生可能エネルギー電源拡大への貢献を目指してまいります。

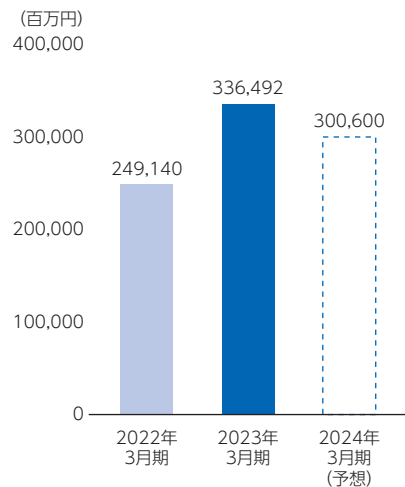


フォワーダー（木材運搬車）と燃料ストックヤード（(株)WIND-SMILE提供）

連結業績ハイライト

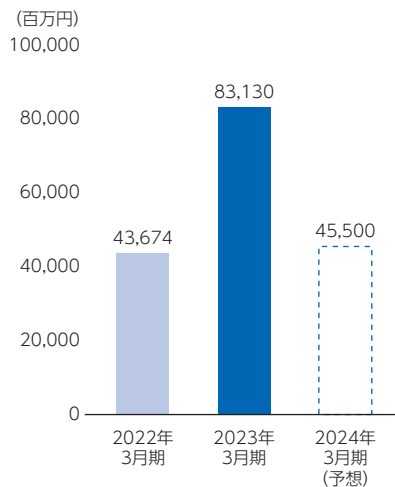
売上高

336,492百万円



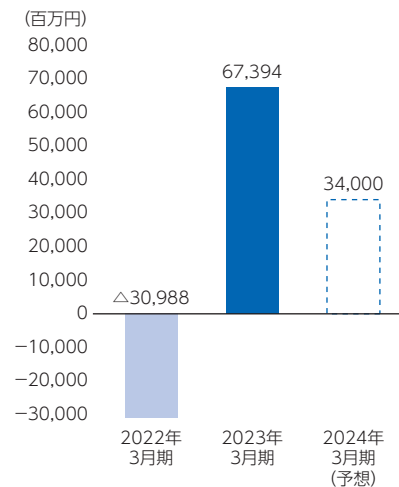
経常利益

83,130百万円



親会社株主に帰属する
当期純利益

67,394百万円



単位:百万円

	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期(予想)
売上高	249,140	336,492	300,600
営業利益	19,809	62,085	41,200
経常利益	43,674	83,130	45,500
親会社株主に帰属する当期純利益	△30,988	67,394	34,000
総資産	471,941	568,180	—
純資産	402,770	457,169	—
原油CIF価格(ドル/バレル) ^注	73.28	102.26	75.00
為替レート(円/ドル)	111.20	132.86	125.00

注 原油CIF価格とは、原油が日本に輸入される際の運賃や保険料を含んだ通関ベースの価格です。

財政状況等その他詳細につきましては、当社ウェブサイトをご覧ください <https://www.japex.co.jp/ir/>

会社概要・株式の状況 (2023年3月31日現在)

会社概要

商号	石油資源開発株式会社
英文社名	Japan Petroleum Exploration Co., Ltd. (JAPEX)
本社所在地	〒100-0005 東京都千代田区丸の内一丁目7番12号 サピアタワー
設立	1970年4月1日
資本金	14,288,694,000円
従業員数	1,617名(連結)
事業内容	石油、天然ガスおよびその他のエネルギー資源の探鉱、開発、生産、販売と、これらに関連する掘削などの請負事業、電気の供給等
事業所等	本社、北海道事業所、秋田事業所、長岡事業所、相馬事業所、仙台事務所、技術研究所、ヒューズトン事務所、ジャカルタ事務所、アバディーン事務所、ドバイ事務所、シンガポール事務所

取締役・監査役 (2023年6月27日現在)

取締役会長	渡辺 修
代表取締役社長 社長執行役員	藤田 昌宏
代表取締役 副社長執行役員	石井 美孝
取締役 専務執行役員	山下 通郎
取締役 常務執行役員	中島 俊朗
取締役 常務執行役員	手塚 和彦
取締役	伊藤 鉄男
取締役	山下 ゆかり
取締役	川崎 秀一
取締役	北井 久美子
取締役	杉山 美邦
常勤監査役	中村 光良
常勤監査役	本山 喜彦
監査役	川北 力
監査役	本山 博史

注1 取締役 伊藤鉄男、山下ゆかり、川崎秀一、北井久美子および杉山美邦は、会社法第2条第15号に定める社外取締役です。

注2 監査役 川北力および本山博史は、会社法第2条第16号に定める社外監査役です。

株式の状況

発行可能株式総数	120,000,000株
発行済株式の総数	54,300,076株
株主数	20,540名

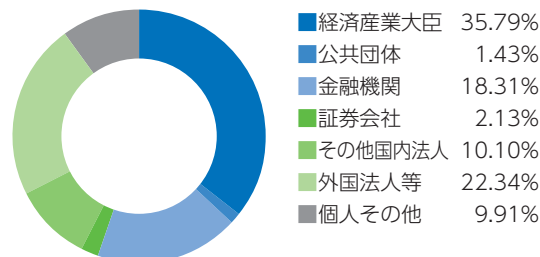
大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
経済産業大臣	19,432,724	35.79
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	6,341,800	11.68
株式会社INPEX	2,852,212	5.25
CEP LUX-ORBIS SICAV	1,913,104	3.52
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,384,500	2.55
JFEエンジニアリング株式会社	924,012	1.70
株式会社みずほ銀行	720,152	1.33
JPモルガン証券株式会社	615,320	1.13
JP MORGAN CHASE BANK 385632	504,810	0.93
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001	482,986	0.89

注 持株比率は自己株式を控除して算出しています。

株式分布状況

所有者別



注 小数点第3位以下を四捨五入して表示しています。

株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 6月開催
基準日 定時株主総会の議決権 3月31日
 期末配当 3月31日
 中間配当 9月30日
公告方法 電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法により行います。

株主名簿管理人 みずほ信託銀行株式会社
(特別口座管理機関)

お問い合わせ先 **【証券会社に口座をお持ちの株主様】**
お取引先の証券会社にお問い合わせください。なお、未払配当金のお支払いや支払い明細の発行については、下記のみずほ信託銀行の連絡先にお問い合わせください。

【特別口座の株主様(証券会社に口座をお持ちでない株主様)】

みずほ信託銀行の下記の連絡先にお問い合わせください。
〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話:0120-288-324(フリーダイヤル)

単元株式数 100株
証券コード 1662(東京証券取引所 プライム市場)

見通しに関する注意事項

この「石油資源開発ビジネスレポート」に掲載されている当社の現在の計画、見通し、戦略、その他歴史的事実ではないものは、将来の業績に関する見通しを示したものです。実際の業績は、さまざまな要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。

JAPEX

石油資源開発株式会社

〒100-0005
東京都千代田区丸の内一丁目7番12号 サピアタワー

【株主様窓口】

総務法務部文書グループ 電話:03-6268-7001

【IRに関するお問い合わせ】

コーポレートコミュニケーション室 電話:03-6268-7111
ウェブサイト <https://www.japex.co.jp/>



環境に配慮した
「植物油インキ」
を使用しています。